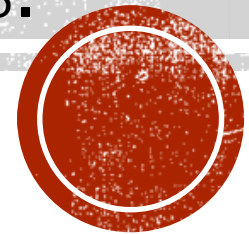


奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科

博士前期課程人文社会学専攻の

コース再編について **(第1報)**

2021.6.



〈このコース再編は令和5(2023)年度入学者より適用されます〉

コース再編の概要

奈良女子大学大学院人文社会学専攻には、現在、5つのコース（古代文化学・歴史学・社会情報学・地域環境学・文化メディア学）がありますが、令和5（2023）年度入学者からは、歴史学コース・地理学コース・社会学コースに再編する予定です。入学者選抜もこの各コースを選抜単位として実施することとなります。



コースで学修・研究できる内容の対応図

2022年度入学生まで

古代文化学コース

歴史学コース

地域環境学コース

社会情報学コース

文化メディア学コース

2023年度入学生から

歴史学コース

地理学コース

社会学コース

【図の見方】 2022年度までの古代文化学コースと歴史学コースでの学修内容は新しい歴史学コースで学べるなど、再編前に学修可能であった研究テーマは、再編後もいずれかのコースで引き続き探究可能です。



コース再編のねらい

今回のコース再編により、専攻としての学際的な学びの機会は維持したうえで、各コースで何が学修・研究できるのかがより明確になります。このことにより、いっそう専門性の高い修士論文の作成につながる環境が整います。

学位取得後のキャリアパスに向けては、修了するコース名によって自らの専門分野をアピールすることも可能となることから、各自の対外的な発信力がより強化されます。博士後期課程に進学する場合にも、前期課程各コースでの研究内容を、さらなる専門的な研究へとよりスムーズに発展させる効果が期待されます。

なお、先の図で示したように、再編前に学修可能であった研究テーマは、再編後の3コースのいずれかで学び、研究テーマとして追究することができます。

